



2021年5月11日

各位

会社名：株式会社三城ホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 澤田 将広
 (コード：7455 東証第1部)
 問合わせ先：取締役ファイナンス担当 中塚 哲郎
 (TEL. 03-6432-0732)

**営業外収益、特別損失の計上及び
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2021年3月期において、下記のとおり営業外収益及び特別損失を計上する見込みですので、その概要をお知らせいたしますとともに、2020年8月28日に公表しました2021年3月期通期連結業績予想値を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益

(1) 為替差益の計上

昨今の外国為替相場の変動により、2021年3月期連結累計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)において、為替差益344百万円を計上する見込みです。これは主として、期末日(2021年3月31日)時点における外貨建資産を同日の為替相場で評価したことによるものです。

(2) 助成金収入の計上

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等の支給申請により、助成金収入267百万円を計上する見込みです。

2. 特別損失(減損損失)の計上

当社および一部の連結子会社における店舗等の固定資産について、収益性の低下がみられたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失として484百万円を特別損失に計上する見込みです。

3. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	43,816	△ 998	△ 908	△ 1,673	△ 32.93
今回修正予想(B)	43,873	△ 180	613	△ 39	△ 0.78
増減額(B-A)	56	818	1,522	1,633	
増減率(%)	0.1	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (2020年3月期)	48,307	476	446	△ 730	△ 14.34

4. 業績予想修正の理由

コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年3月には国内も緊急事態宣言が発令され、4月、5月は休業せざるをえない店舗もあり、大変厳しい通期予想としておりました。そのようななか、創業90周年を迎えるにあたり、緊急事態宣言が解除された6月中旬頃からTVCM等を開始し、店内に比較的スペースがあり、“密”にならないよう安全性を確保しながら営業を続けることができた郊外型店舗が売上を牽引し、一時は予想を上回ることも想定されましたが、12月頃からの再びの感染拡大により、1月、2月には客足が鈍くなり、結果的に売上高は当初予想を僅かに上回ると見込んでおります。

営業利益につきましては、期初の予想より高い粗利益率を確保できたこと、緊急事態宣言の発令に伴うショッピングセンター内店舗の休業や営業時間の短縮による家賃等の減免により、販売管理費が減少し、当初予想よりマイナス額は少なくなる見込みです。また、経常利益につきましては、上記のとおり為替差益の計上、助成金収入により予想を大きく上回り、親会社株主に帰属する当期純利益も予想よりマイナス額が少なくなる見込みです。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上